

10の政策分野のポイント

I 健康・余暇

～健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、
また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手～

R6 : 748億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 高齢者や働き盛り世代などへの重点的な対策や相談支援体制の充実強化など、**官民一体となった自殺対策の推進**
- ・ 市町村と連携し、**在宅医療・介護連携の体制の構築**
- ・ 県民が身近な場所で気軽に**文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実**

主な事業

- **自殺対策緊急強化事業費 110百万円** [保健福祉部]
- 新** ○ **在宅医療推進設備整備費補助 27百万円** [保健福祉部]
在宅医療提供体制を強化するため、在宅医療に取り組む医療機関等を対象に、在宅医療に必要な医療機器の整備に要する経費を補助（補助率：定額、補助対象：医療機関等）
- 新** ○ **訪問看護総合支援事業費 13百万円** [保健福祉部]
訪問看護事業所の機能強化のため、相談支援体制の構築による訪問看護事業所の運営支援や、潜在看護師等の就業促進による人材の確保、教育、研修の実施体制の拡充に向けた取組を実施
- **遠隔医療設備整備費補助 52百万円** [保健福祉部]
- 拡** ○ **緩和ケア等啓発推進事業費 13百万円** [保健福祉部]
がん患者や家族の療養生活の質の維持向上を図るため、緩和ケア従事者の育成、がん患者等への支援や情報提供、医療用ウィッグに加え新たに乳房補正具の購入費用の補助等を実施（補助率：1/2、補助対象：市町村）するほか、若年がん患者の妊よう性温存に対する助成を実施
- 拡** ○ **周産期医療対策費 337百万円** [保健福祉部]
- 新** ○ **地域文化芸術活動体制整備事業費 3百万円** [文化スポーツ部]
中学校の休日部活動の地域移行を進めるため、地域における文化活動の受入体制の整備に向けた実証事業を実施
- 拡** ○ **地域スポーツ活動体制整備事業費 24百万円** [文化スポーツ部]
中学校の休日部活動の地域移行を進めるため、地域における運動部活動の受入体制の整備に向けた実証事業を実施するとともに、学校や関係団体と連携した推進体制を構築するため、協議会を設置
- 新** ○ **福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）整備事業費 68百万円** [環境生活部・保健福祉部]
福祉・消費生活分野における相談機能のワンストップ化・充実を図るため、福祉総合相談センターと県民生活センターを一体的に整備

10の政策分野のポイント

II 家族・子育て ～家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、 また、安心して子育てをすることができる岩手～

R6 : 239億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 安心して子どもを生み育てられる環境をつくるため、結婚、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目のない支援を強化
- ・ 周産期救急搬送体制の強化や妊産婦の通院等を支援
- ・ 学校・家庭・地域が連携・協働する仕組みづくりを推進

主な事業

- 新** ○ 市町村少子化対策支援事業費 82百万円 [保健福祉部]
市町村が行う産後ケア等の利用促進や、子どもの遊び場整備に要する経費を補助（補助率：1/2・2/3、補助対象：市町村）するとともに、モデル的に分野横断で少子化対策に取り組む町村が行う地域課題の分析等に対して伴走型支援を実施
- 拡** ○ 岩手であい・幸せ応援事業費 55百万円 [保健福祉部]
- 拡** ○ いわてで家族になろうよ未来応援事業費 118百万円 [保健福祉部]
- 拡** ○ ライフデザイン形成支援事業費 8百万円 [保健福祉部]
- 拡** ○ 周産期医療対策費 337百万円 [保健福祉部]
- 拡** ○ 妊産婦支援事業費 44百万円 [保健福祉部]
- 新** ○ 助産師活躍推進事業費 4百万円 [保健福祉部]
院内助産や助産師外来、産後ケアの推進のため、助産師の確保・育成等の取組を実施
- 拡** ○ 地域子ども・子育て支援事業交付金 1,950百万円 [保健福祉部]
- 拡** ○ 児童福祉研修事業費 24百万円 [保健福祉部]
- 新** ○ こどもの権利擁護環境整備事業費 7百万円 [保健福祉部]
社会的養護の子どもの意見表明や権利擁護に向けた必要な環境整備として、意見表明支援員の確保や周知啓発、調査・審議の仕組みの構築
- 新** ○ 児童養護施設等高機能化・多機能化モデル事業費補助 20百万円 [保健福祉部]
高機能化多機能化モデル事業を実施する児童養護施設等に対し補助（補助率：10/10、補助対象：児童養護施設等）
- 学校・家庭・地域の連携協力推進事業費 132百万円 [教育委員会]
- 新** ○ 青少年・男女共同参画意識調査等事業費 4百万円 [環境生活部]
青少年の健全育成や男女共同参画、女性活躍の推進を図る基礎資料とするため、県民意識等の調査や企業へのアンケート調査を実施

いわての子
みんながつくる
大きなゆりかご

10の政策分野のポイント

III 教育 ～学びや人づくりによって、 将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手～

R6 : 133億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 児童生徒の確かな学力を育むため、I C Tを効果的に活用し、**教育の質や学習効果を向上**
- ・ いじめや不登校の未然防止、早期発見に向けて、**教育相談体制の充実や多様な教育機会の確保**の取組を推進
- ・ ものづくり産業や農林水産業、建設業など、**各産業のデジタル化やD Xを推進する人材を育成**

主な事業

- 新** ○ **学校教育D X推進事業費 39百万円** [教育委員会]
I C Tを効果的に活用した情報活用能力の育成や、G I G Aスクール運営支援センターの運営、統合型校務支援システムの運用等、全県的な学校教育のD Xを推進
- 新** ○ **遠隔教育による学びの機会充実事業費 8百万円** [教育委員会]
小規模校における生徒のニーズに応じた質の高い学びの機会の充実を図るための授業配信を行うとともに、不登校等多様な背景を有する生徒に対する遠隔授業の配信に向けた調査を実施
- 拡** ○ **いわて進学支援ネットワーク事業費 17百万円** [教育委員会]
- 新** ○ **全国高等学校総合体育大会推進事業費 3百万円** [教育委員会]
本県で開催されるインターハイスピードスケート競技選手権大会の開催に向け、岩手県実行委員会に対して大会運営を支援
- 新** ○ **心の健康観察システム活用推進事業費 8百万円** [教育委員会]
児童生徒の心や体調の変化を把握し、児童生徒の発するS O S等の早期発見、早期支援につなげるため、1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の取組を推進
- 新** ○ **不登校対策強化事業費 3百万円** [教育委員会]
不登校児童生徒の多様な学びの場を提供するため、県の教育支援センター「ふれあいルーム」分室に、自立支援相談員を配置し、学校及び家庭へのアウトリーチ型支援を実施
- 新** ○ **私立学校運営費補助（専修学校（高等課程）不登校対策等支援事業費） 7百万円** [ふるさと振興部]
不登校生徒等を積極的に受け入れている私立専修学校（高等課程）における人件費の一部を補助（補助率：2/3、補助対象：私立専修学校）
- 新** ○ **スクールロイヤー相談体制整備事業費 1百万円** [教育委員会]
学校における諸課題に対する適切かつ速やかな初期対応を図り、課題が深刻化することを防ぐため、スクールロイヤーによる法務相談体制を構築
- 拡** ○ **未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費 25百万円** [商工労働観光部]

10の政策分野のポイント

IV 居住環境・コミュニティ

～不便を感じないで日常生活を送ることができ、
また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手～

R6 : 63億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 高い断熱性能を備えた住宅の普及や既存住宅の省エネ化を支援
- ・ 国や市町村等と連携した、路線の維持、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築や公共交通の利用促進
- ・ 移住体験等の取組及び移住希望者への相談機能の強化、移住者を受け入れるためのサポート体制を整備
- ・ 県民が安心して文化芸術に親しむ機会やスポーツに取り組むことのできる場を提供

主な事業

- 新** ○ **いわてZ E Hプラス住宅等普及促進事業費 41百万円** [県土整備部]
2050年カーボンニュートラルの実現に向け、Z E H + 水準を満たす住宅の建設等に要する経費の補助等を実施（補助率：定額、補助対象：住宅の所有者等）
- 新** ○ **乗合バス運転士確保対策費補助 17百万円** [ふるさと振興部]
運転士不足に伴うバス路線の減便等を防ぐため、バス事業者が運転士の確保に要する経費を補助（補助率：1/3、補助対象：乗合バス事業者）
- 拡** ○ **J Rローカル線活性化対策事業費 34百万円** [ふるさと振興部]
地域にとって欠くことができないJ Rローカル線の更なる利用促進を図るため、沿線自治体等が行う利用促進の取組に対する支援等を実施
- 新** ○ **短期滞在型人材確保推進事業費 11百万円** [商工労働観光部]
本県での多様な働き方・暮らし方を首都圏在住者に広く紹介するとともに、県外大学生に対し、就業先から賃金が支給されるお試し就業・お試し居住体験の場を提供し、本県の魅力を伝えることにより、県内への移住・就業を促進
- 拡** ○ **いわて暮らし応援事業費 206百万円** [商工労働観光部]
東京圏からのU・Iターンを促進するため、若者等に対し移住支援金等を支給
（●移住支援金 補助率：3/4、補助対象：市町村 ●いわて若者移住支援金 補助率：定額、補助対象：移住者）
- **いわてお試し居住体験事業費 36百万円** [県土整備部]
本県への移住・定住の促進を図るため、県外からの移住希望者に対し、家電等を整備した県営住宅を低廉な家賃で提供
- **いわて地域おこし協力隊活動推進事業費負担金 16百万円** [ふるさと振興部]
- **復興の絆を活かした文化芸術による次世代育成事業費 7百万円** [文化スポーツ部]
- 新** ○ **グローバルネットワーク推進事業費（南米移住者等交流活動支援事業費） 26百万円** [ふるさと振興部]
ブラジル県人会創立65周年記念式典に知事等が出席し、支援・激励を行うとともに、近隣の南米県人会を訪問し、在外県人会の激励を行い、県人会活動の活性化・本県と南米地域との交流を促進

10の政策分野のポイント

V 安全 ～災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手～

R6 : 50億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 頻発・激甚化する自然災害などの災害リスクに対応するため、「災害マネジメントサイクル」を推進
- ・ 犯罪被害者等支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、交通事故防止対策等を推進
- ・ 新興感染症の発生に備えた必要な病床や診療・検査体制、迅速かつ円滑なワクチン接種体制を整備するとともに、高病原性鳥インフルエンザの防疫体制を強化

主な事業

- 拡** ○ 災害マネジメントサイクル推進事業費 3百万円 [復興防災部]
- 新** ○ 避難所運営デジタル化実証事業費 8百万円 [復興防災部]
災害対応力を強化するため、デジタル技術を活用した避難所受付の効率化や支援物資の迅速な供給に関する実証実験等を実施
- 地震・津波対策緊急強化事業費 59百万円 [復興防災部]
- 拡** ○ 自主防災組織強化事業費 6百万円 [復興防災部]
県民の防災意識の向上を図るため、県広報誌などによる広報や地域防災サポーター制度を活用した県民向けの出前講座などを実施するとともに、新たに、防災人材を活用した自主防災組織等の活動を支援する取組を実施
- 拡** ○ 犯罪のない安全・安心まちづくり推進事業費 3百万円 [復興防災部]
- 性犯罪等被害者支援事業費 11百万円 [復興防災部]
- 交通安全指導費 25百万円 [復興防災部]
- 特殊詐欺被害予防対策費 13百万円 [警察本部]
- 拡** ○ 困難な問題を抱える女性支援等推進事業費 6百万円 [保健福祉部]
緊急宿泊場所確保提供、自立する場合の生活費支援、連絡協議会の開催等を実施
- 新** ○ 流行初期医療確保措置事業費 1百万円 [保健福祉部]
新興感染症が発生した場合に流行初期医療確保措置を講じるため、平時におけるシステムの運用・保守を実施
- 感染症予防費 2百万円 [保健福祉部]
- 新** ○ 家畜伝染病予防費（高病原性鳥インフルエンザ防疫措置費） 41百万円 [農林水産部]



地域安全アドバイザーによる
地域安全マップづくり支援



鳥インフルエンザ防疫作業

10の政策分野のポイント

VI 仕事・収入

～農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、
また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手～

R6 : 743億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 新分野展開や業態転換等を通じた生産性の向上など、**中小企業者の付加価値向上等に向けた取組を支援**
- ・ 県内のものづくり産業における**企業間連携による技術開発や新製品開発**に係る取組を**推進**
- ・ **経済効果の高い高付加価値旅行者やインバウンドの誘客拡大を推進**
- ・ **生産性・市場性の高い産地づくりの推進、水産業の再生、農林水産物等の輸出拡大**

主な事業

- **中小企業者等賃上げ環境整備支援事業費補助 100百万円** [商工労働観光部]
- 新** ○ **いわて事業承継促進資金保証料補給補助 9百万円** [商工労働観光部]
中小事業者が、岩手県事業承継・引継ぎ支援センターの確認を受けて、いわて事業承継促進資金の貸付を受けた場合の信用保証料の一部を補助
- 新** ○ **知的財産活用サポートセンター事業費 6百万円** [商工労働観光部]
県の知財推進の中核機関である（一社）岩手県発明協会と連携して、ものづくり産業を中心とした県内企業等の知的財産の戦略的な創造、適切な保護・強化及び効果的な活用を支援し、県内企業等の高付加価値化を促進
- 新** ○ **ものづくりAI活用人材育成事業費 7百万円** [商工労働観光部]
ものづくり産業の生産性・付加価値向上の加速化のため、産学官連携により、企業のAI活用人材育成の取組を支援
- 拡** ○ **いわて地場産業振興支援事業費 10百万円** [商工労働観光部]
本県の地場産業の魅力向上を図るため、海外メディアと連携した情報発信を行うプレスツアー等を実施
- 拡** ○ **いわて観光キャンペーン推進協議会事業費 23百万円** [商工労働観光部]
J R 東日本重点販売地域と連携した観光キャンペーンやプロモーションを実施
- 拡** ○ **日本一の美味しいお米の国づくり推進事業費 48百万円** [農林水産部]
「金色の風」、「銀河のしずく」を核とした県産米の高品質・良食味安定生産の推進や、販路の開拓、消費者の評価・認知度の向上等の取組を実施するほか、新たに県北地域が栽培適地となる県オリジナル水稻品種の導入に向けた取組を実施
- **森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業費（間伐・路網・再造林関係） 501百万円** [農林水産部]
- **栽培漁業推進事業費 329百万円** [農林水産部]
- 新** ○ **いわての食財海外販路開拓・魅力発信事業費 15百万円** [農林水産部]
県産農林水産物の輸出力強化、海外への販路拡大を図るため、有望市場において、現地バイヤーや在外公館等と連携し、トップセールス及び岩手県フェア等を開催

10の政策分野のポイント

Ⅶ 歴史・文化

～豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手～

R6 : 4億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 「平泉の文化遺産」の**拡張登録**に向けた取組や**学校教育活動を通じた意識の醸成**
- ・ 世界遺産等の来訪者数の増加に向けた**情報発信**や**教育旅行の誘致等**の推進
- ・ **民俗芸能などを次世代へ引き継ぐ取組**の推進
- ・ **歴史資源や伝統文化**を生かした**地域活性化**

主な事業

- **世界遺産登録推進事業費 39百万円** [文化スポーツ部]
「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた取組を実施
- **世界遺産価値普及事業費 12百万円** [文化スポーツ部]
県内の3つの世界遺産「平泉」、「橋野鉄鉱山」及び「御所野遺跡」に係る価値や魅力の理解増進を図るとともに、中尊寺金色堂建立900年を契機とした特別企画展示等を実施
- **柳之御所遺跡整備調査事業費 63百万円** [教育委員会]
県立平泉世界遺産ガイダンスセンターを拠点とし、柳之御所遺跡の保存と活用のため、発掘調査を実施するとともに、史跡公園としての整備を実施
- **いわて県南歴史・文化観光推進協議会負担金 3百万円** [文化スポーツ部]
平泉の世界遺産及び関連資産を活用した関係人口の創出や地域の活性化を図るため、文化観光に関する取組を実施
- **いわての民俗芸能活性化交流促進事業費 3百万円** [文化スポーツ部]
本県の民俗芸能の魅力発信と、民俗芸能の保存・継承に向けた発表・鑑賞機会の確保のため、「民俗芸能フェスティバル」を開催
- **文化財保護事業費 100百万円** [教育委員会]
国・県指定文化財の所有者等が行う修理、保存整備、記録保存等に要する経費の一部を補助（補助率：1/4・1/2、補助対象：国・県指定文化財の所有者等）



岩手の3つの世界遺産



平泉世界遺産ガイダンスセンター



世界遺産出前授業

10の政策分野のポイント

Ⅷ 自然環境

～一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、
自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手～

R6 : 72億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 市町村や関係団体等と連携した、野生鳥獣の科学的・計画的な管理の推進
- ・ 循環型地域社会の形成に向けた、廃棄物の発生抑制や循環利用の推進
- ・ 地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な脱炭素社会の実現に向けた取組の推進

主な事業

- 拡** ○ 鳥獣被害防止総合対策事業費 348百万円 [農林水産部]
野生鳥獣による農作物被害を防止するため、有害捕獲や電気柵等の侵入防止柵の設置などを支援するほか、新たにシカ特別対策に要する経費を補助（補助率：定額等、補助対象：協議会等）
- いわたの森林づくり推進事業費（いわて環境の森整備事業費） 996百万円 [農林水産部]
- 新** ○ ツキノワグマ被害防止対策事業費 5百万円 [環境生活部]
ツキノワグマによる被害防止対策として、現場の態勢強化に加え、市街地出没訓練及び捕獲技術向上研修等を実施
- 新** ○ 鳥獣捕獲個体処理効率化支援事業費 10百万円 [環境生活部]
効率的なシカ等の捕獲個体の処理を推進するため、市町村等が行う処理施設整備に要する経費を補助（補助率：市町村等負担分の1/2または上限5,000千円、補助対象：処理施設を整備する市町村等）
- 拡** ○ 野生動物との共生推進事業費 22百万円 [環境生活部]
鳥獣の計画的な管理の推進のため、新たにツキノワグマの大規模ヘアトラップ調査を行うほか、ツキノワグマ等の個体数管理、生息環境管理、防除対策等の各管理計画に基づく対策を実施
- 三陸ジオパーク推進強化事業費 10百万円 [環境生活部]
- 循環型地域社会形成推進事業費 122百万円 [環境生活部]
- 拡** ○ 脱炭素化推進事業費 65百万円 [環境生活部]
- 拡** ○ E V等普及促進事業費 82百万円 [環境生活部]
- 海洋エネルギー関連産業創出推進事業費 9百万円 [ふるさと振興部]



ツキノワグマ市街地出没訓練



再生可能エネルギーの導入促進

10の政策分野のポイント

IX 社会基盤

～防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手～

R6 : 579億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ I L Cの実現に向けた取組や、受入環境の整備、新たな産業振興を推進
- ・ 自然災害から県民の暮らしを守るため、**ハード対策とソフト施策**を効果的に組み合わせた**防災・減災対策**を推進
- ・ **物流の基盤となる道路**や、**農林水産業の生産基盤**を整備し、産業振興を支援
- ・ 社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けられるよう、**予防保全型への転換**を進めるなど、**適切な維持管理**を推進

主な事業

- 拡** ○ **I L C推進事業費 115百万円** [I L C推進局]
- 新** ○ **スマート物流等社会実装促進事業費 19百万円** [ふるさと振興部]
「買物困難者」の増加、物流の停滞が懸念されている「2024年問題」の対策として、共同配送管理システムやドローン等を活用したスマート物流の社会実装実現を目指す取組を実施
- **河川改修事業費 3,817百万円** [県土整備部]
- **砂防事業費 1,483百万円** [県土整備部]
- **河川等災害復旧事業費 10,212百万円** [県土整備部]
- **地域連携道路整備事業費 6,348百万円** [県土整備部]
- **道路環境改善事業費 11,871百万円** [県土整備部]
- **経営体育成基盤整備事業費 3,181百万円** [農林水産部]
- **基幹水利施設ストックマネジメント事業費 1,139百万円** [農林水産部]
- **林道整備事業費 1,666百万円** [農林水産部]
- **水産流通基盤整備事業費 558百万円** [農林水産部]
- **道路・河川等維持管理事業費 13,722百万円** [県土整備部]
- **港湾施設改良事業費 164百万円** [県土整備部]
- **公営住宅建設事業費 424百万円** [県土整備部]

一般国道455号乙茂工区(道路の嵩上げ)
地域連携道路整備事業



ドローンによる荷物配送



経営体育成基盤整備事業

10の政策分野のポイント

X

参画

～男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など
幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手～

R6 : 13億円

※新型コロナウイルス感染症対応・原油価格物価高騰対策分等を除く。

取組の方向性とポイント

- ・ 性別や年齢、障がいの有無に関わらず活躍できる職場環境づくりの推進
- ・ N P Oの活動や地域の連携・協働のネットワークづくりを促進
- ・ 人口減少対策等の全県的な課題に対する県民運動の展開

主な事業

- 新** ○ いわて家事・育児シェア普及推進事業費 3百万円 [環境生活部]
家庭において男女が協力して家事・育児を行う意識醸成を図るため、公民連携による啓発キャンペーンを実施
- 新** ○ いわて女性デジタル人材育成プロジェクト事業費 16百万円 [環境生活部]
女性の多様で柔軟な働き方の推進及び所得向上を図るため、デジタル分野で即戦力として活躍できるスキル取得やデジタル業界での就労に向けた支援を実施
- 拡** ○ いわて男女共同参画プラン推進事業費 25百万円 [環境生活部]
男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画センターを拠点として各種講座の開催や情報提供、相談事業、L G B T等への理解促進の取組を実施
- いわて若者活躍支援強化事業費 25百万円 [環境生活部]
- いわてで働こう推進協議会管理運営費 1百万円 [商工労働観光部]
- いわて働き方改革加速化推進事業費 8百万円 [商工労働観光部]
- N P O等による復興支援事業費 22百万円 [環境生活部]
- N P O活動交流センター管理運営費 33百万円 [環境生活部]
- いわて県民情報交流センター管理運営費 717百万円 [環境生活部]
- 食育県民運動促進事業費 1百万円 [環境生活部]
- いわてで生み育てる県民運動推進費 5百万円 [保健福祉部]

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「ILCプロジェクト」の推進

目指す姿

国際リニアコライダー（ILC）の実現により、世界トップレベルの頭脳や最先端の技術、高度な人材が集積されることから、イノベーションを創出する環境の整備などを進めることにより、知と技術が集積された国際研究拠点の実現を目指します。

現状と課題

- ◆ 研究者が**2030年を建設開始とするタイムラインを公表**。政府のタイムリーな誘致判断を後押しするため、**国民的な機運の醸成が必要**。
- ◆ 産学官共同により、**まちづくりのモデルケースの策定を推進**。市町村による**ILC誘致を契機にしたまちづくりを促すことが必要**。
- ◆ 県内企業に対する**加速器関連産業への参入支援や技術指導等を実施**。参入意欲のある**県内企業の技術力向上が必要**。
- ◆ **カーボンニュートラル実現に向けた持続可能な森林資源の活用方法等の研究を推進**。継続的な**グリーンILCの取組**や**更なる理念の普及が必要**。

今後の展開

国民・県民理解の増進

- ◆ 政府のタイムリーな誘致判断を後押しするため、**国民的な機運醸成の取組を展開**
- ◆ より多くの国民に訴求するため、関係団体や多様な人脈を生かした**県外向け理解促進の取組を推進**

国際研究拠点の形成支援等

- ◆ 産学官共同で策定を進めているまちづくりのモデルケースについて市町村と共有する取組を推進
- ◆ 受入環境の整備に向けた関係機関の取組を促進

イノベーションの創出

- ◆ コーディネーターによる**県内企業の加速器関連産業への新規参入の促進及び国内加速器プロジェクトへの参入を支援**
- ◆ **試作品性能評価機器を活用し、技術力向上を支援**
- ◆ いわて加速器関連産業研究会を軸にした大学、公設試験研究機関等との連携による共同研究を推進

グリーンILCによるエコ社会の実現

- ◆ **排熱の有効利用**に向けた研究や**ILC立地地域におけるCO²吸収量の把握**などの共同研究を着実に推進
- ◆ **グリーンILCの普及啓発**を推進

令和6年度の具体的な取組

ILC推進事業費115百万円

令和6年度は次の取組を重点的に推進するほか、周辺市町村のまちづくりの取組支援や外国人研究者等の受入環境整備の取組を着実に推進。

- ① **国民・県民理解の増進**（ILC推進事業費16百万円）
 - より多くの国民の理解を促進し、国民的機運醸成を図るため、様々な人材や人脈を活用し、**効果的なメディア展開による普及啓発活動**を実施
- ② **イノベーションの創出**（ILC推進事業費 27百万円[政プロ費]）
 - 加速器コーディネーターによる企業訪問や技術指導等により、**加速器関連産業への新規参入を目指す企業を発掘するとともに、国内加速器プロジェクトでの受注に向けた支援**を実施
 - 岩手ILC連携室・オープンラボに整備した試作品性能評価機器を活用し、**県内企業の技術力向上を支援**するほか、**産学官での共同研究**を推進
- ③ **グリーンILC**（ILC推進事業費 1百万円[政プロ費]）
 - **蓄熱吸着材による熱輸送システムの実用化**に向けた研究や、ILC立地地域における**CO²吸収量の算出精度向上**に向けた研究を継続
 - グリーンILCの理念や取組の理解促進を図るため、**セミナーを開催**

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～ 「北上川バレープロジェクト」の推進

目指す姿 働きやすく、暮らしやすい、21世紀にふさわしい新しい時代を切り拓く地域

現状と課題

①北上川流域の強みを生かした産業振興・生活環境の更なる充実

【現状】

・キオクシア岩手第2製造棟やSMC遠野サプライヤーパークの建設等、北上川バレーエリアにおける半導体関連産業等の誘致が加速。
 ・ヘルステック・イノベーション・ハブ入居企業間の連携による新製品開発・新事業創出が活性化。関連するベンチャー企業の創出が続く。
 ・県央広域振興圏のIT企業と県南広域振興圏のものづくり企業との連携により、ものづくり企業のDXが進展。
 ・U・Iターン者の受入体制の構築・情報発信及び移住者交流会を通じた移住者の定着を市町村との連携により支援。

【課題】

・誘致企業及び県内中小企業が求める人材の育成・確保・定着支援の強化。
 ・U・Iターン者を中心に県内定着につながる生活環境等の整備の推進。

②第4次産業革命技術の導入の促進と新たな技術を拓く人材の確保・育成

【現状】

・県内でIoT・AIを活用した生産性向上に取り組む企業や工場のスマート化を目指す企業が顕在化。
 ・北上市や奥州市が取り組む「モバイルクリニック」や北上市が進めるデジタル基盤を活用した「こども療育ネットワーク」等の地域のDXが進展。
 ・IT企業による自社のITスキルを活用した県内でのスマート農業の実践や営農・生産管理システムの高度利用により、労力削減や生産性向上等を実現。
 ・小学生から大人までを対象にしたIT人材の育成が県内企業を中心にスタート。
 ・高等教育機関との連携による半導体関連産業の人材育成の展開など、産学官連携による専門人材の育成や高等教育機関における高度人材育成が進展。

【課題】

・企業や地域におけるDXの動きをエリア全体に波及させるための取組の推進。
 ・地域内でのAI等の高度IT人材育成・確保の取組の強化。

③多様な主体との連携・協働によるプロジェクト推進体制の構築

【現状】

・北上川バレーエリアの市町村との連携による地域課題の共有や情報交換、先進事例研究等を通じ、地域におけるスマート農業や遠隔医療などの取組が進展。

【課題】

・北上川バレーエリアに「残ってもらう」「帰ってきてもらう」「来てもらう」きっかけとなる地域の魅力のPRの充実。

今後の展開

①

県内就業に向けた産業人材の育成・確保・定着と県内企業の働き方改革の推進

②

産業分野・生活分野におけるDXの促進とデジタルを含む高度技術人材育成

③

展開研究会を核とした構成市町、アドバイザーボード等との連携・協力の下での取組推進と構成市町等と連携したSNS活用による積極的な地域の魅力情報発信

令和6年度の具体的な取組

①

産業振興・生活環境

- キャリア教育事業を推進【就業支援推進事業費】89百万円(商工)
- 大学生等の県内就職を促進【いわて就業促進事業費】115百万円(商工)
- 未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費【25百万円(商工)】
- 人材育成と起業支援【みらいもりおか人材確保推進事業費】1百万円[広域](盛岡局)
- マッチングサイトの運営と移住支援金の支給【いわて暮らし応援事業費】206百万円(商工)
- Uターンプロモーションの展開【いわてターン促進事業費】4百万円(商工)
- Z世代への就活応援メディアの展開【いわてとつながろう働く魅力発信事業費】19百万円(商工)
- 移住者等を対象とした交流会【県南地域移住定住・定着促進事業費】3百万円[広域](県南局)
- 誘致企業と連携したワークショップ【関係人口・つながり強化事業費】2百万円[広域](県南局)
- 若者等に県営住宅を提供【若者・地域応援住宅支援事業費】3百万円(県土)
- 移住希望者に県営住宅を提供【いわてお試し居住体験事業費】36百万円(県土)
- 空き家取得等の費用を支援【若者・移住者空き家住まい支援事業費補助】7百万円(県土)
- 取引拡大、人材育成等を推進【半導体関連産業創出推進事業費】9百万円(商工)
- 【いわて働き方改革加速化推進事業費】8百万円(商工)
- 育児休暇導入等の取組支援【魅力ある職場づくり推進事業費】11百万円(商工)
- スタートアップ創出の場づくり、事業化支援【起業・スタートアップ推進事業費】20百万円(商工)

②

第4次産業革命技術の導入と人材の確保育成

- IT企業の販路拡大支援【情報関連産業競争力強化事業費】3百万円(商工)
- 【北上川バレーDX推進・高度人材確保促進事業費】96百万円(商工)
- 伴走型支援【中小企業デジタル化支援ネットワーク事業費】3百万円(商工)
- モデルの創出【ものづくりDXシステム導入支援強化事業費】13百万円(商工)
- 建設企業へのDX導入支援【建設DX推進事業費補助】13百万円(県土)
- IT関連企業の取引拡大等【みらいもりおかDX推進事業費】4百万円[広域](盛岡局)
- DX人材の育成・確保等【北上川流域生産性向上対策事業費】8百万円[広域](県南局)
- デジタル人材育成と社会実装【データ駆動型農業推進事業費】12百万円[政プロ費](農水)
- 森林情報の共有化【森林クラウドシステム整備事業費】35百万円(農水)
- スマート林業人材の育成【スマート林業推進事業費】2百万円(農水)
- 企業のAI活用人材育成【ものづくりAI活用人材育成事業費】7百万円[政プロ費](商工)
- 新製品開発の促進【医療機器関連産業創出推進事業費】8百万円(商工)
- ヘルステック関連産業の製品化推進【新産業事業化促進事業費】13百万円(商工)

③

プロジェクト推進体制の構築

- 【北上川バレープロジェクト推進事業費】2百万円[政プロ費](ふる)

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～ 「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」の推進

目指す姿 岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展する三陸防災復興ゾーンの創造

現状と課題

① 「防災」で世界とつながる三陸

- 東日本大震災津波伝承館の来館者数が90万人を突破。三陸のゲートウェイとして定着。震災を経験していない世代の増加等により風化や関心の低下が懸念
- 震災の事実・教訓の次世代への確実な伝承、風化防止、防災力向上に貢献する取組が必要

② 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸

- 復興道路の全線開通など新たな交通ネットワークが整備
- 復興道路や港湾など多様な交通ネットワークを生かした三陸地域への周遊、誘客促進が必要

③ ジオパークで世界とつながる三陸

- 住民主体の活動などエリアとしての一体的な活動が拡大
- 世界ジオパーク認定を見据え、ジオパークの魅力伝える人材の育成と誘客の促進が必要

④ 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸

- 三陸の豊かな食材や魅力を軸に据えた産業振興や、釜石鶴住居復興スタジアム等を活用したスポーツを通じた人的・経済的交流拡大に向けた取組を推進
- 三陸の「食」を核とした産業振興とスポーツ施設等を活用した大会・合宿誘致など国内外へのPRを実施し、人的・経済的交流の拡大につなげる必要

⑤ 次代を担う人材の育成

- 三陸DMOセンターが三陸地域の観光地域づくり人材育成等を推進し、三陸地域の多様な関係者との連携を強化
- 地域振興をけん引する継続的な人材の育成が必要

⑥ 多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進

- 三陸振興協議会を設置し、関係団体の事業の共有と連携を推進
- 多様な主体が参画し、持続的な三陸振興につなげていくことが必要

今後の展開 NYタイムズ掲載を契機とした、盛岡を起点とした三陸地域への交流拡大

① 伝承館を拠点とした震災の事実・教訓の伝承の推進と県内震災伝承施設等との連携による三陸地域の周遊促進

- 三陸鉄道等の地域資源を活用した防災ツーリズム等による防災学習の推進

② 復興道路等を活用した物流態勢の構築支援

- 県内港湾への利用転換の促進とクルーズ船の更なる寄港誘致、国内航空会社と連携した三陸地域への誘客の促進
- 市町村等と連携した三陸鉄道の企画列車の実施による誘客促進

③ 地質遺産等や環境保全に関する知識を有する人材の育成

- 国内外との交流人口を拡大

④ 「食」を核とした地域振興の推進

- 三陸地域の特色を生かしたスポーツによる地域づくりの推進

⑤ 三陸DMOセンターを中核とした三陸観光振興体制の構築と観光人材の育成

⑥ 多様な主体の連携による交流人口の拡大と三陸地域の持続的な振興を図る取組を推進

令和6年度の具体的な取組

- ◇ニューヨーク・タイムズへの掲載を契機とした盛岡等内陸から三陸地域への誘客促進
- ◇東京大学など学術研究機関と連携した先進的な地域づくりの推進
- ◇三陸地域の総合的な振興を図る推進体制の検討

① 「防災」で世界とつながる三陸

【拡】県内外の多様な主体と連携し復興を推進するため、「復興フォーラム」を開催するとともに、**県内震災伝承施設等の情報発信**を拡充し、東日本大震災津波伝承館を拠点とした事実・教訓の伝承・発信、国内外へのいわての復興情報の発信を実施(復興情報発信事業費 23百万円)

【拡】三陸の地域資源と防災学習を活用して**企業の研修や大学の現地ゼミ等を誘致**(新しい三陸振興推進費 3百万円[政プロ費])

② 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸

港湾の利用促進と【新】クルーズ船寄港誘致のためのプロモーション活動(港湾利用促進費 3百万円)(クルーズ船誘致プロモーション事業費 9百万円)

三陸鉄道の開業40周年を契機としたイベントや観光資源を活用した企画列車の造成等を支援(三陸鉄道運営支援事業費(岩手県三陸鉄道強化促進協議会負担金) 17百万円)

【拡】空港の利用と沿岸地域への周遊を促進するプロモーション等を実施(いわて花巻空港利用促進事業費 156百万円[政プロ費])

【新】旅マエ、旅ナカにおける情報発信の強化など受入環境の整備の促進と海外へのプロモーション活動等を実施(世界が気づいた岩手の魅力発信事業費 17百万円[政プロ費])

【新】インバウンド誘客促進に向け、三陸沿岸を含む**旅行商品の造成を支援**(インバウンドぐるっと県内周遊促進事業費 30百万円[政プロ費])

③ ジオパークで世界とつながる三陸

ガイド講習会やジオパークを活用した教育等を推進するとともに、分かりやすい**ジオストーリーの発信や交流イベントの開催等**を推進。**世界ジオパーク認定**に向けた取組を実施。(三陸ジオパーク推進強化事業費 10百万円[政プロ費])

④ 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸

【拡】主に釜石港を利用した三陸地域の**中国向け輸出促進**のため、中国からバイヤーを招聘し、「いわて食の大商談会」での商談やライブ配信等を実施(海外輸出強化事業費 38百万円[政プロ費])

【拡】水揚量が増加している魚種などを対象とした**新たな水産物の販路・物流モデル**等の構築に向けた取組を実施(新たな水産資源利活用モデル開発事業費 10百万円)

【新】海業の理解醸成等に向けたシンポジウムの開催やビジネスモデルの構築支援(海業推進モデル事業費 5百万円)

いわてスポーツコミッションによる大会・合宿の誘致に向けた取組の実施(地域活性化スポーツ推進事業費 18百万円)

⑤ 次代を担う人材の育成 ⑥ 多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進

三陸地域の地域資源を生かした商品企画力と実践力を備えた人材の育成(三陸観光プランナー養成塾)(三陸観光地域づくり推進事業費負担金 19百万円)

【拡】市町村、関係機関との連携強化による三陸地域の総合的な振興を図る推進体制の検討(新しい三陸振興推進費 3百万円[政プロ費])(再掲)

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」の推進

目指す姿 あらゆる世代がいいきと暮らし持続的に発展するゾーンの創造

現状と課題

- 北いわての基幹産業である農林水産業と豊富な再生可能エネルギー資源に着目し、それを結びつける新技術やJクレジットなどの新たな投資手法を生かした地域振興の取組が、地元企業を中心に各地で進んでいる。
- 東京大学を中心に、いわて県立大学と県の連携による「ゼロカーボンと豊かさの両立を目指すCOI-NEXT」の取組も始まっており、大学が有する高度な知見や民間力を生かして、各地の地域振興やイノベーションにつなげていく必要がある。
- DXの進展による地域振興を検討するため令和5年6月に産学官18組織が参画する二戸地域デジタル人材育成研究会が発足。
令和5年度の研究成果を、産学官が連携し企業現場、教育現場等で実践していく必要がある。

今後の展開

- | | | |
|---|---------------------------|---|
| ① | あらゆる世代が活躍する地域産業の展開 | ・地域産業のDXの推進や国の制度活用により、若者や女性が活躍する地域産業を展開する。
・木質バイオマス資源を生かした燃料・熱電供給ビジネスの創出や木質新素材などの新技術の誘致に向けた取組を進めていく。 |
| ② | 北海道・北東北広域交流圏の形成による交流人口の拡大 | ・NYタイムズ掲載を契機とした世界遺産や漆、琥珀などの地域資源を生かした交流人口の拡大につなげていく。 |
| ③ | 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした地域の振興 | ・北いわてにおける洋上風力発電事業の導入の可能性を調査研究していく。
・木質バイオマス資源や木質新素材などの新技術を生かした地域振興を進めていく。(再掲) |
| ④ | 中山間地における快適な社会の形成 | ・市町村の先進的な取組の横展開や、大学の高度な知見を生かした地域づくりを推進していく。 |
| ⑤ | 地域の未来を担う人材の育成 | ・地域の産業や社会を牽引する次世代リーダーの育成と地元への定着を推進していく。 |
| ⑥ | 多様な主体の参画と協働による地域づくりの推進 | ・北いわて産業・社会革新推進コンソーシアムとCOI-NEXTが連動した先進的な取組を推進する。 |

令和6年度の具体的な取組

- | | | |
|---|--------------------------|--|
| ① | あらゆる世代が活躍する地域産業の展開 | 拡 ・二戸地域における地場企業のDXの推進(北いわてプラチナシティ推進事業費 7百万円[政プロ費])
拡 ・データ駆動型農業の実証研究や人材育成の推進(データ駆動型農業推進事業費 12百万円[政プロ費])
・特定地域づくり事業協同組合の導入による多様な働き方の実現(活力ある小集落支援推進事業費 3百万円[政プロ費]) |
| ② | 北海道・北東北広域交流圏の形成 | 新 ・旅マエ、旅ナカにおける情報発信の強化など受入環境の整備の促進と海外へのプロモーション活動等を実施(世界が気づいた岩手の魅力発信事業費 17百万円[政プロ費])
・北海道・北東北縄文遺跡群の国内外への情報発信(世界遺産保存活用事業費 10百万円) |
| ③ | 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした地域の振興 | 新 ・農業における環境負荷低減技術などのモデル実証等を実施(高収益園芸作物DX・GX導入実証事業費 16百万円)
・沿岸北部における洋上風力発電の事業化など海洋エネルギーの活用を促進(海洋エネルギー関連産業創出推進事業費 9百万円[政プロ費])
・バイオマスを資源生かした経済循環モデルの確立(北いわてバイオマス資源活用推進事業費 2百万円) |
| ④ | 中山間地における快適な社会の形成 | ・アクティブシニアの活躍によるコミュニティ形成(北いわてプラチナシティ推進事業費 7百万円[政プロ費])
新 ・共同配送管理システムやドローン等を活用したスマート物流の社会実装実現を目指す取組を実施(スマート物流等社会実装促進事業費 19百万円[政プロ費]) |
| ⑤ | 地域の未来を担う人材の育成 | ・高校での脱炭素・未来ワークショップの開催【COI-NEXT】
拡 ・安心して子育てできる取組や地元就職、移住定住に向けた取組の推進(働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業費 5百万円) |
| ⑥ | 多様な主体の参画と協働による地域づくりの推進 | ・産学官の力を結集した、北いわてが有するポテンシャルと新技術等を生かした取組により、北いわての産業振興と社会づくりを一体的に推進(北いわてプラチナシティ推進事業費 7百万円[政プロ費]) |

【令和6年度のコンソーシアムとCOI-NEXTの主な取組】

○バイオ炭による収益性の高い循環型農林業の確立、○木質バイオマス資源を生かした地域内エコシステムの構築、○環境配慮型の発電事業と畜産業の協業、○木質由来新素材活用プロジェクト、○二戸地域デジタル人材育成研究会、○いわてクアオルトネットワーク構想、○SDGs未来都市を生かした地域活性化、○アクティブシニアの活躍機会の拡大、○特定地域づくり事業協同組合制度の導入拡大、○岩泉町における物流等でのドローン活用検討、○高校等における脱炭素未来ワークショップなどの人材育成、ほか

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「活力ある小集落実現プロジェクト」の推進

目指す姿：将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティの実現

現状と課題

① 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

【現状】

- バスやタクシー運転手の不足、物流の2024年問題などへの対応のため、AIを活用したオンデマンド交通や、ドローンなど新技術を活用した課題解決の動きが拡大

【課題】

- 地域での事業化に向け、事業主体の育成と採算性の確保のため、大学や民間企業のノウハウを積極的に導入していく必要がある

② 人と人のつながりを守り、育てる仕組みの構築

【現状】

- 松園地区ではアクティブシニアや民間力を生かし、県営住宅を活用したワンストップサービス拠点を整備し、コミュニティ再生の取組が始まる
- 中山間地における集落機能の維持に取り組む農村型地域運営組織(農村RMO)や、地域産業への人材派遣を行う特定地域づくり事業協同組合の取組が拡大
- 高齢化が進展する集落の歴史や生活・文化を現地で聞き書きし、後世に伝えるとともに、新たな魅力を引き出そうとする学生の取組が開始

【課題】

- 民間や地域と連携したワンストップサービス拠点の小集落への拡大
- 農村RMOや特定地域づくり事業協同組合制度の導入市町村の拡大

③ プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

【現状】

- 有識者と岩泉町、岩手町、西和賀町で構成する「活力ある小集落プロジェクト研究会」において、市町村の個別地域課題解決に向けた取組を開始

【課題】

- 研究会に小規模市町村や民間企業の参画を拡大し、地域課題の解決に取り組む必要

今後の展開 取組を加速するスキーム

① 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

■ 岩泉町における新技術を活用した地域課題解決の社会実装

- ・ドローンと陸送サービスの協業等による課題解決

② 人と人のつながりを守り、育てる仕組みの構築

■ ワンストップサービス拠点の拡大

- ・民間力を生かした松園モデルの他地域への拡大
- ・郵便局やIGRの駅舎を活用したワンストップサービス拠点化

■ 国の制度導入支援

- ・集落機能の維持や担い手の確保を支援

③ プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

■ 小規模市町村との連携強化

- ・西和賀町北部地域活性化ビジョンの実現支援(町と連携)

令和6年度の具体的な取組

① 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

- 新** 共同配送管理システムやドローン等を活用したスマート物流の社会実装実現を目指す取組を実施(スマート物流等社会実装促進事業費 19百万円[政プロ費])

② 人と人のつながりを守り、育てる仕組みの構築

- 拡** 郵便局やIGRの駅舎を活用したワンストップサービス拠点化(活力ある小集落支援推進事業費 3百万円[政プロ費])
- ・地域おこし協力隊制度の活用による地域振興と地域への定住・定着を促進(地域おこし協力隊活動支援事業費 3百万円[政プロ費])
- ・特定地域づくり事業協同組合の導入による多様な働き方の実現(活力ある小集落支援推進事業費 3百万円[政プロ費])
- ・農村RMOの形成に向けて取り組む地域に対し、中間支援組織等との連携による伴走支援を実施(中山間地農業農村活性化推進対策事業費 72百万円)

③ プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

- ・「活力ある小集落実現プロジェクト研究会」において、小規模市町村や民間企業の参画を拡大し、具体的な地域課題の解決に取り組む(活力ある小集落支援推進事業費 3百万円[政プロ費])

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～ 「農林水産業高度化推進プロジェクト」の推進

目指す姿

飛躍的な生産性の向上や、農林水産物の新たな価値の創出等の取組を通じて、農林水産業の高度化を推進し、収益性の高い農林水産業を実現

現状と課題

① 先端技術の活用等による農業生産性革命の推進

【現状】

- ・環境制御技術（ミスト加湿）による雨よけほうれんそうの増収技術の開発
→ 慣行栽培比最大14%収量増（令和5年度試験データ）
- ・東北地域向けの良食味米や新たな花色のりんどうなどの新品種の開発
- ・生産現場の栽培・生育等のデジタルデータの蓄積

【課題】

- ・環境制御技術の品目拡大、普及実証
- ・気候変動・新たなニーズに対応した新品種の早期開発
- ・蓄積データを活用した更なる生産性向上



▲雨よけほうれんそうの栽培実証（左上：ミスト加湿（噴霧）の様子）



▲東北地域向け水稲新品種の開発

② 豊富で多様な森林資源を活用した林業の成長産業化の推進

【現状】

- ・森林GIS、ドローンなどを活用したスマート林業による森林管理技術等の開発・実証
- ・木質バイオマスを活用した地域への熱電併給（紫波町等）

【課題】

- ・スマート林業の普及による業務の効率化・生産性の向上
- ・地域内エコシステムの導入機運の醸成・普及



▲再造林の効率化に向けた実証（ドローンによる苗木運搬）

③ 生産技術の高度化や水産資源の造成等による攻めの地域漁業の推進

【現状】

- ・他産地と差別化するいわてオリジナルのサクラマス種苗の開発
- ・水揚量が増加しているサワラ等の水産物の販路・物流モデルの実証（例：県内の小売・飲食店等のニーズに合わせたサワラ商品の開発）

【課題】

- ・いわてオリジナルのサクラマス種苗の海面養殖への活用促進
- ・新たな販路・物流モデルの構築



▲いわてオリジナルのサクラマス種苗

④ 個性が輝く地域資源を活用した農山漁村の活性化

【現状】

- ・漁村ならではの地域資源の価値や魅力を活かした「海業」の取組の開始（大槌町吉里吉里漁港、山田町織笠漁港）

【課題】

- ・海業の取組の他地域への波及（理解醸成、普及促進）

今後の展開

① 農業生産性革命の推進

- 環境制御技術の導入推進
 - ・低コスト環境制御技術の導入支援
- 新品種の開発
 - ・気候変動に対応する水稲等の新品種開発
- データ駆動型農業の実装
 - ・データ駆動型農業の現場での実証

② 林業の成長産業化の推進

- ICT等の導入促進
 - ・ICTを活用した森林管理・施業を普及できる人材の育成
- 地域内エコシステムの導入促進
 - ・地域協議会等の活動を通じた導入支援

③ 攻めの地域漁業の推進

- 高度なつくり育てる漁業の推進
 - ・漁場等の効率的な活用に関する技術の開発・普及
 - ・海洋環境の変化に対応した生産技術の開発・普及
- 水産加工業の振興
 - ・水揚量が増加している資源の有効利用

④ 農山漁村の活性化

- 海業の促進
 - ・漁港等を活用した海業の取組機運の醸成、取組支援

令和6年度の具体的な取組

① 農業生産性革命の推進

- 拡** 地球温暖化適応品種開発プロジェクト事業費（19百万円）
 - ・DNAマーカーを活用した地球温暖化等に適応する新品種の開発
- 拡** 低コストで導入可能な果樹の凍霜害対策の実証
- 拡** 日本一のおいしいお米の国づくり推進事業費（48百万円）
 - ・東北地域向け水稲新品種の普及定着のための取組の実施
- 拡** データ駆動型農業推進事業費【政プロ費】（12百万円）
 - ・多様なデータに基づく栽培技術・経営の最適化に向けた実証研究
 - ・園芸品目におけるAI技術を活用した省力型栽培体系の開発・実証

② 林業の成長産業化の推進

- スマート林業推進事業費（2百万円）
 - ・ICT（森林GIS、ドローン操作等）に関する研修会及びセミナーの開催

③ 攻めの地域漁業の推進

- 拡** さけ、ます海面養殖イノベーション推進事業費【政プロ費】（4百万円）
 - ・サケ、マス類の海面養殖用種苗の効率的な生産技術、海面養殖用種卵の量産技術の実証
 - ・サケ、マス類の海面養殖用魚種の高水温耐性の調査
- 拡** 新たな水産資源利活用モデル開発事業費（10百万円）
 - ・水揚量が増加している魚種等の新たな販路・物流モデル、需要喚起モデルの構築

④ 農山漁村の活性化

- 新** 海業推進モデル事業費（5百万円）
 - ・海業の理解醸成等に向けたシンポジウムの開催やビジネスモデルの構築支援

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「健幸づくりプロジェクト」の推進

目指す姿

健康寿命が長くいきいきと暮らすことのできる社会の実現

現状と課題

① 個別疾患を抽出するシステムの構築

【現状】

- ・電子カルテから脳卒中患者データを抽出する機能を開発（令和元年度）

【課題】

- ・開発したアルゴリズムの効果等の検証

② 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

■ 独自の医療等ビッグデータ利活用システム（データベース）の構築・活用

【現状】

- ・県内の健康・医療・介護データを集積し、分析を行う「岩手県医療等ビッグデータ利活用システム」を構築（令和元年度）
- ・集積データの拡充のための機能強化を実施するとともに、データ集積を開始（令和2年度）
- ・基本となる9種の分析に着手（令和3年度）
- ・分析結果を市町村等へ提供（令和5年4月）

【課題】

- ・集積データ及び分析手法の充実
- ・データ活用人材の育成

■ ビッグデータ分析体制の充実

【現状】

- ・外部研究機関等（岩手医科大学等）と連携した分析を実施（令和4年度～）

【課題】

- ・外部研究機関との連携による取組（共同研究等）の充実

③ ビッグデータを活用した健康対策の推進

【現状】

- ・西和賀町において、PHR（ $\text{P}^{\text{H}}\text{R}$ ）を試験的に導入（令和2年度、県補助）し、モニターを対象にPHRの一部機能の試験運用を開始（令和3年度）
- ・県民の健康増進につながるデータや情報を発信する「いわて健康情報ポータルサイト」を公開（令和4年度）

【課題】

- ・PHR導入による効果等の検証
- ・健康づくりへの関心を高めるデータを活用した県民への効果的な情報発信

今後の展開

① 個別疾患を抽出するシステムの構築

脳卒中患者データの抽出システムの成果や課題について検証し、効果的に活用

② 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

- 分析結果を踏まえたデータに基づく市町村支援
健康・医療・介護データを連結したデータについて、保険者間での比較や俯瞰的分析を実施し市町村に提供。データの見える化から効果的な健康施策の立案・実行につなげるための分析手法を検討するとともに、活用人材を育成
- 外部機関との連携の推進
研究機関などの外部機関と連携した取組（共同研究等）を実施

③ ビッグデータを活用した健康対策の推進

- PHR導入モデルの実証
西和賀町におけるPHRの実証事業を通じて、PHR導入による効果等を検証
- 健康増進につながる効果的な情報発信
ビッグデータの分析結果を踏まえ、県民の健康づくりへの関心を高め、行動変容につながる情報発信を実施

令和6年度の具体的な取組

① 個別疾患を抽出するシステムの構築

- ・脳卒中患者データの抽出システムの運用状況について情報収集

② 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

- ・保険者から令和4年度のデータを収集。保険者間比較や俯瞰的分析の結果を市町村等に提供し、地域の健康課題の「見える化」及び課題に対応した効果的な取組を支援（※）
- ・有識者によるワーキンググループにおいて分析手法を検討（※）
- ・岩手医科大学等と連携した共同研究等を実施（※）
- ・データ活用人材を育成

③ ビッグデータを活用した健康対策の推進

- ・西和賀町におけるPHR実証事業を通じて、PHR導入による効果等について情報収集
- ・「いわて健康情報ポータルサイト」等を活用し、県民の健康づくりへの関心を高めるための情報発信を実施（※）

※ 健幸づくりプロジェクト推進費（11百万円、政プロ費）により実施

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～ 「学びの改革プロジェクト」の推進

目指す姿

就学前から高校教育までの質が高く切れ目のない教育環境の構築を通じて、新たな社会を創造し、岩手県の未来をけん引する人材の育成

現状と課題

① タブレット等のICT機器を活用した学習指導方法の研究・開発等による習熟度や学習環境等に応じた教育の推進

【現状】

- 全公立学校で児童生徒1人1台端末等の整備が完了
- 生徒のニーズに応じた質の高い教育の充実を図る遠隔授業を実施
- ICT推進に係る市町村との連携（協議会、GIGAスクール運営支援センター）

	R4	R5
県が設置するGIGAスクール運営支援センターに参画する市町村数	1	4

- PC・タブレット等の1人1台端末を授業で活用した学校の割合は、全国平均を下回っているものの、前年度調査比で大幅に増加

学校への質問		R4調査	R5調査
前年度までに受けた授業でPC・タブレット等を週3回以上程度使用したか（岩手県）	小	49.3%	71.4%
	中	65.4%	81.9%

（文部科学省：全国学力・学習状況調査）

【課題】

- 教員のICT活用指導力の向上
- 児童生徒のICT活用率の向上

② 幼児・児童・生徒の学びや生活に関するデータを活用した一人ひとりに応じた学習指導、生徒指導等の充実

【現状】

- 国において、学びの保障オンライン学習システム（MEXCBT）によるテストや、全国学力・学習定着度状況調査等のCBT化の動きが加速
- 児童生徒の情報を集積、連携する全県統一の統合型校務支援システムについて、岩手県学校教育ICT推進協議会において全市町村との意思統一を図り、令和6年度からの順次導入に向け、令和5年度内にシステム構築を実施
- 探究的な学びをSTEAMの視点から深める課題解決型学習（県立高校9校）

【課題】

- 諸調査のデジタル化の推進と結果データ等を分析、活用方策の確立及び普及
- 全県統一の統合型校務支援システムの円滑な導入と効果的な運用

③ 教育用AIの共同開発など産業界をはじめとした関係機関との連携による教育分野へのSociety5.0に対応した技術の導入促進

【現状】

- AIドリルの導入実証等の情報収集

【課題】

- 教育分野におけるSociety5.0に対応した技術（IoT・AI等）の導入可能性等の調査・研究

今後の展開

- | | |
|--|---|
| ① ICT機器を活用した学習指導方法の研究・開発等による習熟度や学習環境等に応じた教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教員のICT活用指導力向上のための研修及び支援体制の充実 ○ 遠隔授業システムの環境整備による受信校や授業配信の拡大 ○ ICTを活用した社会教育施設等と学校との連携 |
| ② 学びや生活に関するデータを活用した一人ひとりに応じた学習指導、生徒指導等の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 諸調査の分析データ等を活用した、組織的検証サイクルモデルの普及 ○ 国の動向等を踏まえた諸調査へのCBTの導入検討 ○ 全県統一の統合型校務支援システムの導入・運用 |
| ③ 関係機関との連携による教育分野へのSociety5.0に対応した技術の導入促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ AIドリルの導入実証等の情報収集 ○ 教育分野におけるSociety5.0に対応した技術（IoT・AI・ビッグデータ等）の導入可能性等の情報収集 |

令和6年度の具体的な取組

① タブレット等のICT機器を活用した学習指導方法の研究・開発等による習熟度や学習環境等に応じた教育の推進

- 新** GIGAスクール運営支援センターにおけるヘルプデスク対応や訪問指導等の充実、学校DX支援リーダーの配置（学校教育DX推進進事業費39百万円[政プロ費]）
- 新** 県立高校における高機能ICT機器の整備等（高等学校DX加速化推進事業費240百万円）
- 新** 遠隔授業の受信校及び単位認定となる授業配信の拡大、多様な背景を有する生徒を対象とした遠隔授業に向けた調査（遠隔教育による学びの機会充実事業費8百万円）
 - ・ 県立図書館等資料のデジタル化、県立図書館「i-ルーム」の学習環境の整備（社会教育デジタル活用推進事業費15百万円）

② 幼児・児童・生徒の学びや生活に関するデータを活用した一人ひとりに応じた学習指導、生徒指導等の充実

- 新** 全県統一の統合型校務支援システムの順次導入（〔再掲〕学校教育DX推進進事業費39百万円[政プロ費]）
- 新** 1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の取組の推進（心の健康観察システム活用推進事業費8百万円）
- 新** デジタル教科書等を活用した授業改善、家庭学習支援（確かな学力育成加速化事業費6百万円）
 - ・ STEAMの視点からの課題解決型学習の取組の推進（探究・STEAM教育推進事業費15百万円）
 - ・ 児童生徒の「運動」「食」「生活」習慣の形成を総合的に支援するチャレンジカードをベースとしたサポートシステムの検討・研究（60プラスプロジェクト推進事業費2百万円）

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～「文化・スポーツレガシープロジェクト」の推進

目指す姿

県内各地で文化芸術・スポーツの「特色あるまちづくり」が進展

～地域資源や強みを生かし、文化芸術・スポーツにあふれた活力ある地域づくりを目指して～

現状と課題

① 文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進

【現状】

- ・国内最多の3つの世界遺産や、指定数日本一を誇る無形民俗文化財を核とした交流人口・関係人口拡大や、特色ある地域及びコミュニティづくりの機運が広がっている。
- ・復興支援を契機として生まれた著名な芸術家と地域とのつながりが深まっている。
- ・合唱や吹奏楽など音楽分野での子ども達の全国的な活躍が増えており、県民の文化芸術分野への関心が高まっている。
- ・障がい者による文化芸術が、民間企業の事業展開等により注目されてきており、本県のこれまでの取組を生かし、共生社会の実現に向けた取組を進める機運が醸成されてきている。
- ・マンガを通じた岩手の魅力発信を国内外に向け継続実施しており、今後、フランス・アルザス地域に設置予定の日本のマンガ等を取り扱う博物館との連携への発展が期待できる。

② スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進

【現状】

- ・本県で相次いで大規模スポーツ大会が開催され、スポーツ施設、大会運営のノウハウ、おもてなしの精神等を生かした取組を進めることができる環境が備わってきている。
- ・岩手県ゆかりの選手の世界的・全国的な活躍が相次ぎ、県民が誇りや希望（溢れており、令和5年4月にオープンした「きたぎんボールパーク」等が、更に多くの岩手県の子ども達が全国や世界へ飛躍する後押しとなっていくことが期待されている。
- ・障がいのある人もない人も身近な地域で共に楽しむインクルーシブスポーツの機会創出に向け、各地域で推進体制の構築が進められている。
- ・最新のスポーツ医・科学の知見を生かしたアスリート育成や指導者養成の活動により、心技体における効果的な競技力向上が進められている。

【課題（取り組むべきこと）】

- ・本県の得意分野をさらに伸ばしつつ、その盛り上がりをこれまで以上にPRし、交流人口・関係人口の拡大と地域の活性化につなげていく必要がある。
- ・各分野における最新の動向や最先端の技術等を取り入れながら、新たなレガシーを生み出していくための取組を推進する必要がある。

今後の展開

①文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進

- 【文化芸術の地域資源や強みを生かした活力ある地域づくりの推進】
- ・県内各地の強み（世界遺産、民俗芸能）や本県としての得意分野（障がい者芸術、マンガ）を生かした地域活性化と魅力向上
- ・復興支援などのつながりを生かした国内外との交流の推進

②スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進

- 【スポーツの地域資源や強みを生かした活力ある地域づくりの推進】
- ・誰もがスポーツを楽しむことができる環境の整備、各地域の特色を生かしたスポーツ拠点づくりの推進
- ・最新のスポーツ医・科学の知見を生かしたアスリート育成、健康増進

令和6年度の具体的な取組

①文化芸術の力を一層発揮するための環境づくりと人的・経済的交流の推進

- 官民一体による文化芸術推進体制による取組（いわてアーツコンソーシアム推進事業費 5百万円[政プロ費]）
- 「ひらいずみ遺産」等を活用した地域活性化（いわて県南歴史・文化観光推進協議会負担金 3百万円[政プロ費]）
- 復興の絆を生かした交流の推進（復興の絆を活かした文化芸術による次世代育成事業費 7百万円[政プロ費]）
- 障がい者芸術に係る魅力発信（いわてアール・ブリュット未来創造事業費 5百万円）
- マンガ等のメディア芸術を活用した文化的魅力の発信・関係人口の拡大（いわての文化国際交流推進事業費 6百万円[政プロ費]）

②スポーツの力による健康社会の実現と人的・経済的交流の推進

- 官民一体によるスポーツ推進体制による取組（いわてスポーツプラットフォーム推進事業費 7百万円[政プロ費]）
- スポーツ医・科学を通じた人材育成や健康増進（スポーツ医・科学サポート事業費 24百万円）
- 障がいの有無、性別や年齢に関わらず、共にスポーツを楽しむ機会の拡大（インクルーシブスポーツ推進事業費 3百万円[政プロ費]）

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～ 「水素利活用推進プロジェクト」の推進



目指す姿

再生可能エネルギー由来の水素を利活用する取組を通じて、脱炭素・持続可能な社会を実現

現状と課題

【国の水素基本戦略（R5.6改訂）】

- ・ 今後15年で官民による15兆円超の投資
- ・ 水素利用量：2030年までに約1.5倍（200万トン→300万トン）
- ・ 水素製造コスト：2030年までに約1/3（Nm³当たり100円→30円）
- ・ 水素ステーション：2030年度までに約6倍（約160基⇒1,000基）
- ・ モビリティ：乗用車に加え、より多くの水素需要が見込まれる**FCトラックに対する支援を重点化**

①地域資源の好循環に向けた再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進

【現状】

- ・ 県内における**グリーン水素**（※）のニーズ調査の結果、自社のカーボンニュートラルの実現に向け、**将来的に活用する意向**のある事業者が存在。
- ・ 一方、県内には水素製造拠点はなく、輸送コストが課題。
- ・ **再エネ電力等を活用し水素を製造するシステム（P2G）の開発が進展。**

【課題】

- ・ 水素製造に活用できる県内の**再エネ電力等のポテンシャルの把握**。
※再エネ電力を用いて製造された、製造時にCO₂を排出しない水素

②水素関連製品等の普及促進

【現状】

水素ステーション及びFCVの導入費補助を創設するなどの取組を進めているが、ステーション設置には至っていない。

【課題】

- ・ 初期投資を回収するため、**まとまった需要の確保**
- ・ **FCVが普及していない**ため、水素ステーション運営候補となる事業者への水素需要見込みを含め丁寧な説明と理解促進が必要。

③水素関連ビジネスの創出・育成、④水素の理解促進・地域連携

【現状】

水素関連産業への参画に向けて、県内事業者・産業支援機関等を対象に水素関連事業シンポジウムを開催。県民にはホームページ等を通じて理解促進。

【課題】

水素関連産業への参入に向けた更なる機運醸成や、化石燃料代替としての水素の優位性や将来性について利用主体となる事業者の理解促進を図る必要。

今後の展開

①地域資源の好循環に向けた再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進

県内でのグリーン水素の製造及び利活用を見据えた取組を実施

②水素関連製品等の普及促進

モビリティ（FCV、燃料電池フォークリフト）を中心とした導入の働きかけによる水素ステーションの実現。

③水素関連ビジネスの創出・育成

再エネ電力からの水素製造・貯蔵、設備設置工事、メンテナンス、FCV関連産業への参入など水素関連ビジネスの創出・育成に向けた取組を推進

④水素の理解促進・地域連携

水素の安全性や利便性についての普及啓発、環境学習等を通じた理解促進、水素利活用の取組紹介、イベント等でのFCVの展示

令和6年度の具体的な取組

①地域資源の好循環に向けた再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進

・ 県内でのグリーン水素製造・供給を見据え、**水素製造に活用できる電力等の地域資源ポテンシャルを調査**

②水素関連製品等の普及促進

・ 多くの水素需要が見込めるFCトラックの実走に向け、**水素ステーション等研究会メンバー等によるFCV物流の検討**

③水素関連ビジネスの創出・育成

④水素の理解促進・地域連携

・ 県内事業者の水素関連産業への参入及び機運の醸成に向け、水素の利活用セミナー等を実施



FCV



水素ステーション等研究会の活動



FCV展示による理解促進

水素利活用推進事業費 8百万円

新しい時代を切り拓くプロジェクト ～ 「人交密度向上プロジェクト」の推進

目指す姿 いつでもどこでも岩手とつながる環境を整備し、関係人口の質的・量的な拡大を進め、ローカルイノベーションを創出する

現状と課題

① 岩手県に関する様々な情報やサービスの配信など、いつでも岩手とつながることができる環境の整備

【現状】

- ・ SNS「いわてのわ」や関係人口ポータルサイト、YouTube等を活用し、岩手とつながる情報を発信
- ・ コロナ禍を契機とした地方への人の流れ、テレワークやワーケーション、二地域居住といった新しい働き方の拡大
- ・ NYタイムズ紙への掲載による本県への関心の高まり、人流の増加

【課題】

- ・ 市町村や民間も含めた様々な主体の取組の発信を更に強化
- ・ U・Iターンや二地域居住の選択肢としての岩手を情報発信
- ・ 本県への関心の高まりを関係人口・定住人口へと促す取組の推進

② 岩手へのつながりが地域活動への多様な参加や課題の解決などに結び付く「様々な主体の参画によるネットワークの形成」

【現状】

- ・ 震災からの復興支援を契機とした、多様な主体との交流の継続
- ・ 復興防災や世界遺産、三陸ジオパーク、地域公共交通など、豊富な地域資源が存在
- ・ 県・市町村における地域おこし協力隊員の増加（R4：230名）
- ・ NYタイムズ紙への掲載による本県への関心の高まり、人流の増加（再掲）
- ・ 地域主体の戦略的な誘客に向けた、データ活用によるマーケティングプラットフォーム（DMP）の構築

【課題】

- ・ 多様な主体や地域資源の連携による一層のネットワークづくり、地域における受入に向けた機運の醸成
- ・ 学生や若者の本県への定着や、将来的なU・Iターン等に向けた若者同士のつながり、本県との関わり強化
- ・ 地域おこし協力隊の活動支援、任期終了後の定住に向けた取組強化
- ・ 新たなつながりづくりのきっかけとなる観光客の獲得に向け、インバウンドの拡大やデータマーケティングの推進

③ 情報通信技術（ICT）を活用したライフスタイルに合わせた働き方、地域貢献活動など多様な交流の場の創出

【現状】

- ・ 地方への人の流れ、農業に関わりたい方の増加に対する支援の不足
- ・ 外部人材が地域課題解決等に様々な形で関わる機会を創出する「遠恋複業課」の実施（R4までのマッチング件数：93件）

【課題】

- ・ 就農・農村暮らしに関する情報発信や農村体験機会の更なる提供
- ・ 遠恋複業課における外部人材と地域のマッチングの質・量の向上

今後の展開

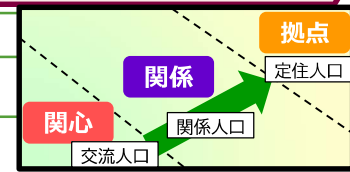
- ① (1)ターゲットに対応した、より効果的な手法・内容による統一的・一体的な情報発信の充実
(2)UターンやIターンの促進に向けた取組の強化
- ② (1)関係性の一層の深化に向け、市町村や民間との連携による受入体制の充実や機運の醸成の促進
(2)岩手と新たにつながりを持つ方々の増加に向けた観光客のニーズを踏まえた誘客促進
- ③ (1)岩手らしさを生かしながら、外部人材が参画する多様な交流機会を提供
(2)外部人材と地域課題解決を希望する地域団体・企業の掘り起こし・マッチングの促進

令和6年度の具体的な取組

○ 「関心」から「関係・定住」への移行を促す取組の強化（情報発信力の強化、地域の受入体制の充実）

① 環境の整備

- 「いわてのわ」や関係人口ポータルサイト、YouTube等による情報発信
- 地域おこし協力隊制度を活用した広域的な地域振興等に取り組む外部人材の活用（いわて地域おこし協力隊活動推進事業費負担金 16百万円）
- 県外在住の若者等へのお試し就業・お試し居住機会の提供（短期滞在型人材確保推進事業費 11百万円）
- 移住希望者の拡大と、移住前のコミュニティ形成を目的とした首都圏での連続講座の開催（いわて移住・定住促進事業費 35百万円）



② ネットワークの形成

- 三陸の地域資源と防災学習を活用して企業の研修や大学現地ゼミ等を誘致（新しい三陸振興推進費 3百万円）
- JRローカル線の魅力向上や県内外からの誘客促進に向け、沿線自治体が行うモデルツアー等を支援（JRローカル線活性化対策事業費 34百万円）
- 県内の地域おこし協力隊員間の交流の場等の設定（地域おこし協力隊活動支援事業費 3百万円）
- いわて若者カフェやフォーラム等による若者の交流の促進（いわて若者活躍支援強化事業費 25百万円）
- 知事のトップセールスによる外国人観光客向けの情報発信や県産品プロモーション等（世界が気づいた岩手の魅力発信事業費 17百万円、海外輸出力強化事業費 38百万円、いわての食財海外販路開拓・魅力発信事業費 15百万円）
- インバウンド向けの県内周遊促進に向けた取組の支援（インバウンドぐるっと県内周遊促進事業費 30百万円）
- 東・東南アジア市場に東北一体で認知度向上プロモーションを実施（世界が訪れたくなる東北・岩手広域周遊促進プロモーション事業費 15百万円）
- いわて観光DMPを活用したデジタルマーケティングの推進と観光地域づくりの支援（いわての新しい観光推進体制整備事業費 23百万円）

③ 多様な交流の場の創出

- 若者を対象とした農村再発見バスツアーの実施、就農・農村暮らしに関する情報発信（農業農村関係人口拡大定着支援事業費 10百万円）
- 外部人材が地域課題解決等に様々な形で関わる機会を創出する「遠恋複業課」の一層の推進（関係人口創出・拡大事業費 11百万円）

広域振興圏の施策の推進に係るポイント

基本的な考え方

○各広域振興圏の地域振興プランのもと、政策推進プランや復興推進プランに掲げる施策等と連携しながら、①**広域振興局と市町村との連携**、②**県北・沿岸圏域の地域資源の活用**、③**人口減少対策**、④**各広域振興圏の特性に合わせた地域課題の解決**などの取組を推進

広域振興局と市町村との連携の推進

主な事業

- 拡** ○ **地域経営推進費 470百万円** [ふるさと振興部]
各地域の地域振興や地域課題の解決に向け、きめ細かな事業を実施するとともに、現場主義に立脚した完結性の高い広域行政等に向けた市町村の取組の支援に加え、市町村との更なる連携の強化を図り市町村が行う人口減少対策等の取組を支援

県北・沿岸圏域の地域資源を活用した取組

主な事業

- 拡** ○ **県産サーモン養殖確立支援事業費 7百万円** [沿岸局]
大学と連携した効率的な養殖技術の開発や販路拡大に向けたPRの推進、民間事業者の加工品開発の支援を実施
- 拡** ○ **北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費 11百万円** [県北局]
御所野遺跡の世界遺産登録記念事業等を展開するとともに、県北地域の観光コンテンツの充実や周遊促進の取組を実施して誘客拡大を推進

人口減少対策に呼応した取組（移住・定住関連）

主な事業

- 新** ○ **盛岡広域くらしの魅力向上サポーターズ事業 2百万円** [盛岡局] **新** ○ **いわて三陸地域連携移住定住促進事業費 3百万円** [沿岸局]
圏域への転入者と地元とのネットワーク形成を促進する取組を実施
市町村と連携した移住・定住の促進に向けた情報発信等を実施
- 新** ○ **県南地域移住定住・定着促進事業費 3百万円** [県南局] **拡** ○ **働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業費 5百万円** [県北局]
移住セミナーや移住者等を対象とした交流会を開催
安心して子育てできる取組や地元就職、移住定住に向けた取組の推進
- 新** ○ **関係人口・つながり強化事業費 2百万円** [県南局]

各広域振興圏の特性に合わせた地域課題の解決

主な事業

- 拡** ○ **みらいもりおか人材確保推進事業費 1百万円** [盛岡局]
多様な産業のデジタル化・DXの推進を担う人材の育成・確保等を実施
- 拡** ○ **北上川流域生産性向上対策事業費 8百万円** [県南局]
産業の収益性を高めるDXの導入支援や人材の育成・確保等を実施
- **三陸水産加工業等支援事業費 3百万円** [沿岸局]
水産加工業者及びその取引先等に対する経営支援等を実施
- **北いわての産業成長支援事業費 7百万円** [県北局]
食産業やアパレル産業など特徴的な地域産業の情報発信等を支援